

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阿久比町立学校給食センター	階数	地下2階
建設地	愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,852時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2018年4月2日
敷地面積	8,426 m <sup>2</sup>	作成者	林田祥太郎
建築面積	2,190 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,834 m <sup>2</sup>	確認者	林美津徳



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">14.1 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート	実施設計段階	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部						全体
				建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境						0.33				2.7
1 音環境						3.0				3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			-
1.2 遮音						3.0	0.40			-
1 開口部遮音性能						3.0	0.60			-
2 界壁遮音性能						3.0	0.40			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-			-
1.3 吸音						3.0	0.20			-
2 温熱環境						2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50			-
1 室温						3.0	0.38			-
2 外皮性能						3.0	0.25			-
3 ソーン別制御性						3.0	0.38			-
2.2 湿度制御						1.0	0.20			-
2.3 空調方式						1.0	0.30			-
3 光・視環境						2.8	0.25			2.8
3.1 昼光利用						3.0	0.30			-
1 昼光率						3.0	0.60			-
2 方位別開口						-	-			-
3 昼光利用設備						3.0	0.40			-
3.2 グレア対策						3.0	0.30			-
1 昼光制御						3.0	1.00			-
3.3 照度						2.0	0.15			-
3.4 照明制御						3.0	0.25			-
4 空気質環境						3.6	0.25			3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.50			-
1 化学汚染物質			内装材、接着剤等はF☆☆☆☆材を使用			4.0	1.00			-
4.2 換気						3.3	0.30			-
1 換気量						3.0	0.33			-
2 自然換気性能			有効開口面積 居室面積の1/20以上			4.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33			-
4.3 運用管理						3.0	0.20			-
1 CO <sub>2</sub> の監視						1.0	0.50			-
2 喫煙の制御			屋内全面禁煙			5.0	0.50			-
Q2 サービス性能						-	0.30			3.0
1 機能性						2.9	0.40			2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40			-
1 広さ・収納性						3.0	0.33			-
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33			-
3 バリアフリー計画		独自				3.0	0.33			-
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30			-
1 広さ感・景観 (天井高)						3.0	0.33			-
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33			-
3 内装計画						3.0	0.33			-
1.3 維持管理						3.0	0.30			-
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			-
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			-
2 耐用性・信頼性						2.8	0.31			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.48			-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			-
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			-
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.33			-
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.23			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②				3.0	0.23			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.09			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.08			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.15			-
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.23			-
2.4 信頼性						2.4	0.19			-
1 空調・換気設備						1.0	0.20			-
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			-
3 電気設備						3.0	0.20			-
4 機械・配管支持方法		②				3.0	0.20			-
5 通信・情報設備						2.0	0.20			-

<b>3 対応性・更新性</b>				3.3	0.29			-	3.3
3.1 空間のゆとり				4.2	0.31			-	
1 階高のゆとり			階高にゆとりを持たせることで更新性に配慮	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.37			-	2.2
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30			-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50			-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									3.4
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40				3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI <sub>m</sub> =0.74	5.0	0.10			-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.25			-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI <sub>m</sub> =0.46	5.0	0.39			-	5.0
4 効率的運用				2.5	0.26			-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				2.0	0.50			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30				2.9
1 水資源保護				3.4	0.15			-	3.4
1.1 節水			騒音装置付き	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63			-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		3.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			再生加熱アスファルト混合物(外構舗装)	-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.22			-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				2.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30				3.3
1 地球温暖化への配慮		①	LCCO <sub>2</sub> 排出率61%	4.4	0.33			-	4.4
2 地域環境への配慮				2.5	0.33			-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自	出入荷スペース及び施設職員用駐車場を整備	4.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	1.00			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

# 重点項目スコアシート

阿久比町立学校給食センター

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.0</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.11	外構緑化:14.1%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

### ① 地球温暖化への配慮、③ 敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

### ② 資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

### ④ 地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 阿久比町立学校給食センター

計画上の配慮事項	
総合	屋内外及び地域環境など、環境設計において幅広い配慮を行った。
Q1 室内環境	事務空間に必要な設備を設置し、室内空間の快適性に配慮した。
Q2 サービス性能	OAフロアを用いることで、事務空間の更新性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	防犯カメラ、警備システムの導入により地域性への配慮を行った。
LR1 エネルギー	高い断熱性を持つ外壁材を用いることで、外皮の熱負荷抑制に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料を多く選定した。
LR3 敷地外環境	容易に分別可能なごみ置場の計画を行った。
その他	